

編集後記

東京2020がついに開幕しました。緊急事態宣言下の無観客開催という、当初掲げた「復興五輪」とも「人類がコロナに打ち勝った証としての五輪」ともおおよそかけ離れた、記録会のような大会となってしまいました。しかし、パンデミックの中のオリンピック・パラリンピックとして、紛れもなく「歴史に残る大会」となったことには違いありません。

政府や組織委員会の人々が、うつろな目で「安全・安心」という言葉を呪文のように繰り返すたびに、われわれの胸には「不安」と「危険」という文字が大きく膨らんでいきます。既に海外からの選手や関係者の中に感染者が相当数出ていますし、当初想定した「バブル方式」も機能していないようです（2021年7月27日現在）。

そんな中、大会組織委員会の求めに応じ、約90名の日本整形外科学会認定スポーツ医の先生方が医療ボランティアとして活動しています。スポーツ傷害の治療だけでなく、コロナ感染の予防等にも関与する必要も出てくるかと思えます。ご苦勞も多いかと思えますが、無事に職務を遂行されることを祈念いたします。また、この得難い経験を何らかの形でご報告いただければ幸いです。

多くの疑問と反対の声の中開催された東京2020ですが、とは言え、既に日本そして世界の選手達は素晴らしいパフォーマンスを繰り広げていますし、テレビ画面を通してではありますが、観る人々に大きな興奮と感動を与えています。結果的に、「“スポーツの力”は素晴らしい」「オリンピックをやって良かった」とい

うことになるのですが、今回ばかりはそれで終わるわけにはいきません。本当に「安全・安心」な大会は実現できたのか？開催がコロナ感染状況に及ぼした短・長期的影響は？1年間の延期と強行開催による莫大な損失・赤字を今後どう取り繕うのか？などしっかりと検証すべきでしょう。さらに重要なことは、今回図らずもクローズアップされた、一部の特定の関係者の利権・厚遇等の問題や、テレビ放映権など多額の企業権益の存在、そしてやはり時代遅れとなった「国威発揚としての五輪」「経済的恩恵を得るための五輪」など、五輪自体の存在意義をも根本的に見直す時期に来ているのではないのでしょうか？それは、これから大いに問われるであろう、アフターコロナにおける社会の在り方、そして国連などが推進するSDGs（持続可能な開発目標）に即した改革にも直結するものと言えます。単に「コロナ禍の大変な状況の中、成し遂げたオリンピック・パラリンピック」にとどまらせず、「社会そして世界が変革する契機となったオリンピック・パラリンピック」として歴史に名を刻むことを望みたいと思います。

本増大号の特集は、宮本俊之先生のご企画による「整形外傷治療 update 2021」です。四肢・骨盤外傷に対する最先端治療の数々が、16本の論文により臨場感をもって解説されています。コロナ禍における外傷治療は、さらに困難さを増しているものと思われますが、本特集が第一線の外傷治療に携わる先生方の診療の一助となれば幸いです。

（山下敏彦）

「整形・災害外科」第64巻 第10号（9月増大号） 2021年9月1日発行（毎月1回1日発行） 定価 4,950 円（本体 4,500 円＋税 10%） 年間購読料金 定価 44,660 円（本体 40,600 円＋税 10%） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
---	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。